【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公開番号】特開2001-13683(P2001-13683A)
【公開日】平成13年1月19日(2001.1.19)
【出願番号】特願平11-174654
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｆ　7/004　(2006.01)
Ｇ０３Ｆ　3/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｆ　7/004　５２３
Ｇ０３Ｆ　3/10　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月16日(2006.5.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　画像を担持する表面上に保護層を付着させるための方法であって、
支持体フィルムＡと、５０℃以上の融点Ｔｍと０℃以下のガラス転移温度Ｔｇとを有する少なくとも１つのポリマーを含む保護層Ｂとを含む要素を提供する工程であって、保護層Ｂは、自由表面と、反対側の支持体フィルムＡに隣接する支持表面とを有する工程と；
保護層Ｂの自由表面を画像を担持する表面に接着する工程と、
支持体フィルムＡを除去し、それによって保護層Ｂを前記画像を担持する表面上に転写する工程と
を含むことを特徴とする方法。
【請求項２】　前記画像を担持する表面が多色画像を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】　光重合可能な記録材料の画像様露光および現像によってその表面上に形成された色画像を有する色画像を担持する表面と、該画像を担持する表面上の少なくとも１つの保護層とを含むカラープルーフであって、該保護層は、５０℃以上の融点Ｔｍと０℃以下のガラス転移温度Ｔｇとを有する少なくとも１つのポリマーを含み、該保護層は、保存中に機械的および化学的相互作用から色画像を保護することを特徴とするカラープルーフ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
【発明の効果】
本発明の保護層を用いることにより、解像度すなわちカラープルーフの色合いの再現性を損なうことも、着色画像がひずむことも防止して、安定なカラープルーフ材料を提供することができる。さらには、本発明ではさらなる処理工程またはさらなる補助層を必要としない保護層を提供する。
以下に、本発明の好ましい態様を示す。

１．　剥離可能な支持体フィルムＡと少なくとも１つの保護層Ｂとを具えた要素であって、前記保護層Ｂは、５０℃以上の融点Ｔｍと０℃以下のガラス転移温度Ｔｇとを有するポリマーの少なくとも１種を含有することを特徴とする要素。
２．　前記保護層のポリマーの融点Ｔｍは、５０℃から１００℃であることを特徴とする１．に記載の要素。
３．　前記保護層のポリマーのガラス転移温度Ｔｇは－２０℃以下であることを特徴とする１．または２．に記載の要素。
４．　前記ポリマーは、ポリエチレンオキシド類、ポリプロピレンオキシド類、ポリテトラヒドロフラン類、および／またはポリカプロラクトン類であることを特徴とする１．から３．のいずれかに記載の要素。
５．　前記保護層は、不活性充填剤を含有することを特徴とする１．から４．のいずれかに記載の要素。
６．　前記保護層の厚さは、３から１５μｍであることを特徴とする１．から５．のいずれかに記載の要素。
７．　前記剥離可能な支持体フィルムＡは、粗面を有することを特徴とする１．から６．のいずれかに記載の要素。
８．　前記剥離可能な支持体フィルムＡは、平滑面を有することを特徴とする１．から７．のいずれかに記載の要素。
９．　カラープルーフ上に保護層を付着させるための方法であって、
ａ）　必要に応じて多色画像を含んでもよいカラープルーフの画像を担持する表面上に、前記保護層Ｂの自由表面を有する１．から８.のいずれか１つに記載の要素を積層する工程と、
ｂ）　前記支持体フィルムＡを剥離して、それにより前記保護層Ｂを前記カラープルーフの画像を担持する表面上に転写する工程と
を含むことを特徴とする方法。
１０．　支持体、必要に応じて多色画像を含んでもよい画像層、および保護層を有するカラープルーフであって、１．から８．のいずれか１つに記載の保護層を用いることを特徴とするカラープルーフ。